

インターネットとコンピューターが日本を復活させる!

『日本経済を活性化させる 3つの撃鉄』

ある日、我が家に地域振興券が届いた。この券は行政エリア内の店舗販売を行っているところだけでしか使えないので、格安のインターネット販売はおろか、便利な通信販売に使えもしない。個人的には、ふるさと創生基金と並んで、ゴールデン・ラズベリー賞(アカデミー賞の同日、同会場の別室で選ばれる、その年最悪の映画に与えられる賞)をあげたいと落ちこんでいたら、面白い本があった。

1998年7月23日、外資系情報産業研究会(FIIF)が記者発表した緊急提言、「何をなすべきか、

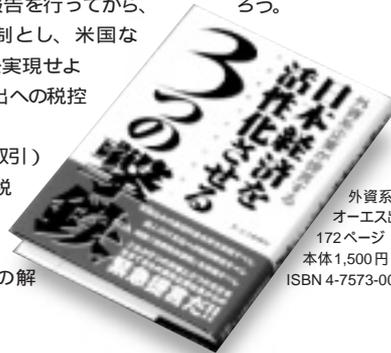
なにからなすべきか」をまとめた本である。FIIFは、外資系コンピューターメーカーやソフトウェアメーカーなどの情報産業企業の日本人トップの集まりで、彼らが情報技術産業の観点から、日本をよくするにはどうしたらよいかを考え、3つの提言を打ち出している。

本書ではまず、データに基づく日本の現状の報告を行ってから、

- ① 回線を定額制とし、米国の料金水準を実現せよ
 - ② 個人のIT支出への税控除措置を
 - ③ EC(電子商取引)の时限「消費税非課税」を
- という3つの提言を行い、その解

説と各メンバーのインタビューから構成されている。

本誌読者が喜びそうな提案を、そうそうたる業界トップが、官公庁、経団連、政党に呼びかけている。地域振興券を考えた人には突拍子もない提案に見えるだろうが、もし実現すれば、社会が変わるターニングポイントになるだろう。



外資系情報産業研究会 編
オーエス出版社株式会社
172ページ
本体1,500円+税
ISBN 4-7573-0006-9



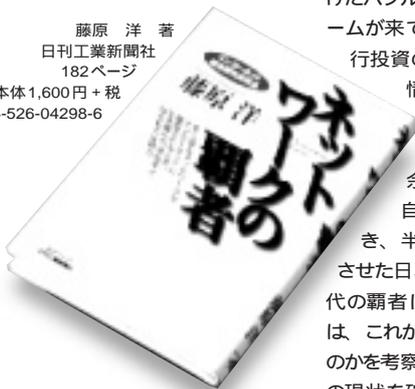
次世代ビジネスのキーワードはネットワーク

菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

生き残りをかけて

『ネットワークの覇者』

藤原 洋 著
日刊工業新聞社
182ページ
本体1,600円+税
ISBN4-526-04298-6



外資系情報産業のトップが、おしなべて景気回復にITの振興を提言している。これはとりもなおさず、米国の情報産業が元気で新たなインフラを生み出し、景気を牽引していることを示している。一山当てようともくむやからがインターネットビジネスに群がっていることでもその勢いがわかる。

それでは、日本はといえば、はじけたバブルの後にインターネットブームが来て、ベンチャー企業が先行投資の資金力を失い、既存の情報産業までも、次の世代のインフラを生み出しきらぬうちに停滞を余儀なくされた。

自動車産業で一時代を築き、半導体産業も順調に成長させた日本は、ネットワークの時代の覇者になりえるのか。本書では、これからどのように社会が向うのかを考察し、データをもとに日本の現状を確認し、世界の視点で日本の情報産業は生き残れるのかを考える。統計データからは、80年代から続く米国主導の情報産業界の勢いと日本の情報産業界の停滞が、あからさまになっている。両国間の格差を埋められないまま21世紀を迎えることは、きっと不幸なことになるであろう。

ネットビジネスの裏でむしられる人々

『回転資金』

バブル後の日本では、急成長していた企業がわずかな陰りを見せただけでも資金をあっさり引き揚げられることが多く、これが不況をさらに深刻化させている。インターネットビジネスもその例外ではない。

では、好景気の順当ではインターネットビジネスは順当に成長を遂げているのだろうか。どうもそうとは言えないようだ。一攫千金を狙って、インターネットという新天地に乗り込んでくる人々も多い。サイバービジネスの有名人も、ひと皮剥けば、みな同じかもしれない。

本書は、インターネットの関連書籍の出版から、インターネット

のコンテンツの制作へとインターネットビジネスを渡り歩いてきた著者自らが、会社を辞職するまでの過程を描いたノンフィクションだ。夢と希望に溢れた起業家の挫折の顛末ではなく、一発当てて大儲けを狙う野心家が疲れ果てて去っていくまでの回顧録となっている。いわば業界の暴露本に近いノリがある。

彼が部門組織の売却について言う一節に、「インターネットビジネスは、どんなに利益を上げていなくても、収入額の20倍から40倍で十分に売れる」とある。もし、これが大多数の企業家の考えだとしたら、米国はインターネットが引き起こしたバブルの真っ最中なのかもしれない。



マイケル・ウルフ著 /
峯村利哉、栗原百代 訳
株式会社徳間書店
397ページ
本体1,800円+税
ISBN4-19-860980-2

いま旬のLinuxの全貌がこの一冊で

『こんなにかんたん！ TurboLinux 3 日本語版』

Linuxのインストールを解説する本は多くなったのだが、インストールするまでに全力を使いきって、インストールしたあとの使い方を丁寧に解説した本が少ない。下の「できる」もサーバー構築編の次で解説される予定だが、それまで待てないユーザーにはこの本が最適だろう。対象としては、超簡単インストール本で導入を果たした初心者だ。もちろん、1章で簡単にインストール方法を解説しているのだから、この本だけからでも始めることができる。

ファイル操作、エディター、印刷、検索、テキスト操作、Xウィンドウ、シェルスクリプトプログラミング、メール、アーカイブ処理、

Bob Rankin 著 /
IDEA・C 訳
株式会社インプレス発行
398ページ
本体2,800円+税
ISBN4-8443-1240-5



インターネット接続、Windowsのファイル互換 / プログラム実行と、一通りの操作が解説される。UNIXが管理者と利用者に分かれていたころにあった利用者向けの入門書を、管理者も兼ねるパーソナルなLinuxユーザー向けに書き直したようなスタンダードな書き方で、翻訳本であるにもかかわらず日本語対応の追加などがされており、日本での書き下ろしのように読める。CD-ROMに収録されているディストリビューションはTurboLinux3.0Jを使用している。

誰でも簡単! Linux

『できるLinux サーバ構築編』

「できる」シリーズは、アプリケーションソフトやオペレーティングシステムの初心者向けの超簡単な入門書として人気がある。それが今回は、なんとUNIX系オペレーティングシステムのLinuxを超簡単に解説しようと試みている。このような、より専門的なテーマを簡単に解説する「できる」の新シリーズを、「できるシリーズPRO」と命名している。

Linuxは、普及するDOS/V互換機で動作するOSとして最近とみに人気が出てきた。文字操作をベースにしたユーザーインターフェイスは、一昔前のDOSをほうふつさせるが、機能重視のサーバーを構築するには、高速、高機能であるがゆえに高く評価されている。

辻 秀典、渡辺高志、アクロバイト & インプレス書籍編集部編
株式会社インプレス発行
237ページ
本体1,980円+税
ISBN4-8443-1246-4



この初心者には扱いにくいOSを、超簡単に解説しようというのが本書だ。Linuxのインストールから、Samba、netatalk、apache、メールサーバーの構築までの設定を、ゆっくりと1つづつ解説していく。

文字操作が基本であるがゆえに、画面ダンプが少なく、わかりにくいように見えるが、画面に出るままの表示を再現することに徹底しているため、非常にわかりやすい。そして、エディターでのカーソルの移動やファイルの保存までをキー操作の細部まで分解しながら進めているので、UNIX未経験者でも安心だ。



松倉秀実、宮下佳之、寺本振透 著
株式会社インプレス
363ページ
本体1,600円+税
ISBN4-8443-1255-3

10名様にプレゼント。詳しくは163ページ。著者3名のサイン入り!

インターネットビジネスに必須の一冊

『よくわからん!? インターネット時代の 法律入門』

3月に国際レコード産業連盟が、MP3検索エンジンの開発会社を訴えた。音楽データを高圧縮し、高音質を保持したままインターネットでの転送や専用プレーヤーによる再生を可能にしたMP3技術が、現行のビジネスに大きな影響を与えるようになってきた。訴訟にまで発展したのは、インターネットとい

うインフラが普通になったからこそのだろう。

本書は、インターネットマガジンに長期間連載した、「ネットワーク時代の知的所有権入門」をまとめた本である。22もの「よくわからん!」に丁寧に答えてくれている。ビジネスが少しでもネットワークに関わるなら、著作権の問題はもはや避けては通れない。その上インターネット上の法律やその解釈は刻々と変化するわけで、早い情報を早く吸収したい。

コンピュータが「普通のもの」になる日

『消えゆくコンピュータ』

久保田 晃弘著
株式会社岩波書店
197ページ
本体1,700円+税
ISBN4-00-026275-0



品の中にあるのが当然の存在になったわけである。このようにコンピュータは、やがてその存在を意識させないようになっていくはずである。これが、この不思議なタイトルの「消えゆくコンピュータ」なのである。消えるまでの過程で大切なインターフェイスについて論じている。

1970年代の後半にパーソナルコンピュータが生まれた頃、シンセサイザーはまだアナログだった。鍵盤の上にはツマミがいくつも並び、ツマミをいじると微妙に変化する音に、黎明期のテクノ小僧は心を躍らせた。それがデジタルシンセサイザーになると、プリセット音源のパラメーターを変更して音を変えるブラックボックスになった。音は聞きやすくなったが、使いやすくなったのだろうか。こんな比喻から、インターフェイスとは、インターフェイスモデルとは、デザインとは何なのかを考えてゆく。

1980年代、家電製品に付加価値を付けて売上げを伸ばすキーワードに、「マイコン制御」があった。ワンチップマイコンが制御するエアコン、炊飯器、洗濯機、掃除機が溢れかえっていた。ところが今では、もうそんな売り文句は付いていない。もちろん製品にマイコンがなくなったわけではなく、炊飯器にヒーターがあるように、掃除機、洗濯機にモーターがあるように、製



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp